

保育園自己評価表

2025年度

園名 まあむキッズ相模大野南口

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に笑顔で挨拶が出来る子 ・やってみようという気持ちを持って積極的にチャレンジする意欲がある子 ・友だちや異年齢との関わりの中で協力して達成する経験を通して思いやりの気持ちを育む。 <p>【達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者が丁寧に挨拶を重ねる中で、子ども達も表情や仕草、言葉で応えようとする姿が見られ、安心した関係の中でやり取りを身に付けることができた。 ・苦手な事を避けるのではなく、スモールステップで挑戦できるように働きかけ、少しでも出来たことを見守り褒めていくことで次も頑張ってみようという気持ちを持つことができた。 ・異年齢で過ごすことで、年上児の遊んでいる姿や作っているものに憧れを持ち、自分たちもやってみたいという気持ちが持っていた。保育者から教わるだけでなく、得意な年上児から教わることで関わりが増え、双方に良い刺激となっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や相談しやすい環境づくりを通じて保育の質と向上と行負担の軽減を行った。少しの時間でも気付いたことや子どもの変化を伝え合った。また、ノンコンタクトタイムが取れるよう時間を調整したり、フォローしながら連携していった。 ・職員会議や日々の活動を通して担当クラス以外の子ども様子を共有し、異年齢で過ごす時でも子ども一人ひとりに合わせた配慮や声掛けが出来るようになっていった。 ・異年齢保育を通して幼児クラスの先生ともそれぞれの目線から情報や意見を伝え合い、共有することができた。 ・子ども達に合った環境構成を考え、工夫し、リラックスできる場など子どもが主体となって過ごせる環境になってきていた。 ・子ども達が主体性に活動していくためにクラスでサークルタイムを行い子ども達の一人ひとりの考えや思いを聞く場を作るようにした。そのことで活動の幅が広がり、子ども達自身も率先して活動するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩の際に地域の方々や他園との気持ちよい挨拶をすることで楽しく活動できた。遊具や遊び場所の譲り合いの気持ちを大切にしてお互いに楽しめるようにした。 ・小規模連携園との交流を行い同じ年の友だちの存在を知ることができ、公園で会った時に挨拶をする姿も見られ、交流が良いきっかけになっていた。 ・写真館のイベントで着物体験会に参加することができ、日本特有の文化に触れることができた。 ・園外保育で電車を利用する際に、温かく声を掛け見守ってくださったり、乗り降り口を変更して下さり、子ども達が安全に離れることなく過ごすことができていた。 ・クッキングでの買い物、電車での園外保育等を経験することで様々な人々、業種の人たちと交流を持つことができた。 ・子育て広場では、外部のお子様も一緒に参加する中で、園の様子を知ってもらうことができたり、0歳児未満の赤ちゃんとおふれあうことができ、小さな子にも優しく接しようとする気持ちも育むことができた。

この評価のつけ方：

施設長・主任による各職員への聞き取り